



# 少子高齢社会から心豊かな長寿社会へ

## 令和5年度における活動実績・成果の概要

- ① Meltem教授（トルコ：Izmir Demokrasi University）と許永河教授（台湾：Dharma Drum Institute of Liberal Arts）を招へいし、社会にインパクトある研究に関するワークショップ（2回）を開催し、共同研究の成果を紹介した。
- ② 陳助教と吉田教授の共著論文である「東日本大震災10年後のデータに基づくソーシャル・キャピタルの形成要因」（『東日本大震災復興研究VII 東日本大震災と原発事故は何を残したのか』増田聡・稲葉雅子・中村哲也監修 東北大学大学院経済学研究科地域産業復興調査研究プロジェクト編）は刊行された。
- ③ 吉田教授は東北大学大学院工学研究科先端学術融合工学研究機構（令和CAST）により主催された社会にインパクトある研究を教育図書として出版するプロジェクトに参加し、少子高齢化に関する内容を議論し、執筆を進めている。
- ④ プロジェクトメンバーが高齢経済社会研究センターのニュースレターやマスコミを通じて、研究成果を積極的に社会に発信した。（毎日新聞、新潮社、仙台放送、山形放送、日本経済新聞、ダイヤモンド。ほくとう総研4回/年寄稿、Wedge Online ほぼ毎月寄稿、掲載、他）
- ⑤ 研究成果の社会普及として、片平まつり、サイエンスデイや緑内障週間においては、積極的に参加し、防災、ヘルスツーリズムや健康増進に関わる最新の研究成果を紹介した。

東北大学大学院経済学研究科高齢経済社会研究センター

<https://sites.google.com/view/caestop/home>

東日本大震災復興研究 VII

## 東日本大震災と原発事故は何を残したか

大震災・原発事故からの復興・復旧の先にある持続的発展のロードマップ

増田聡・稲葉雅子・中村哲也 監修

東北大学大学院経済学研究科

地域産業復興調査研究プロジェクト 編

晃洋書房



令和5年「社会にインパクトある研究ワークショップ」の様子（報告：許永河教授）